

特産品相互取扱協定 自治体紹介

本市と特産品協定を締結している自治体を紹介します。
 問合せ 農林水産課



③⑨ 鹿児島県阿久根市

▶平成29年12月26日、西平良将 阿久根市長（左）と協定を締結



- 面積：134.29km²
- 人口：20,620人・10,121世帯（平成30年11月30日現在）
- 市の花：つわぶき ●市の木：ボンタン

阿久根市は、鹿児島県の北西部に位置し、昭和27年4月1日、阿久根町が市制を施行し、阿久根市が誕生しました。昭和30年4月10日、三笠町を阿久根市に編入し現在の市域となっています。高松川河口の阿久根港を中心に古くから海・陸交通の要衝として海運業・商業などが栄えたまちで、東シナ海に面した約40kmにも及ぶ美しい海岸線や沖合いおよそ2kmに浮かぶ阿久根大島は、海水浴や釣りのメッカとして有名です。

特産品としては、ボンタン、デコポン、シイタケなどがあり、漁業ではアジ、タイ、キビナゴや、春にはムラサキウニ、夏はウルメイワシ、秋は伊勢海老、冬はサバなど四季折々の魚が捕れ、さつまあげ、干物、丸干し、うに味噌などの水産加工品も充実しています。

品質の高い数多くの生鮮品や加工品は、「アクネうまいネ自然だネ」という統一ブランドとして全国に向けて出荷されており、なかでも「阿久根ボンタン」は全国有数の生産量を誇っています。

阿久根市は、自然とひとが共生するまち、「住んでいるまち」から「住んで良かったまち」そして「住みたいまち」を目指し、まちづくりを進めています。



阿久根市の特産品



- 面積：913.22km²
- 人口：72,623人・31,566世帯（平成31年1月1日現在）
- 市の花：きく ●市の木：秋田杉

大館市は秋田県の北部に位置し、昭和26年4月1日に大館町と釈迦内村が合併し、大館市が誕生しました。平成17年6月20日に、比内町、田代町を編入し、現在の市域を形成するに至っています。鉱石と秋田杉の美林に恵まれ、県北部の政治、経済、文化の中心都市として発展しました。

特産品は、比内地鶏が有名で、「薩摩鶏」「名古屋コーチン」とともに、日本三大美味鶏のひとつに数えられています。また、畑のキャビアとも言われる「とんぶり」、生産量の9割以上が関西市場へ出荷されている山の芋、えだまめが特産品となっています。「きりたんぼ」の本場は、この大館・北鹿地方で、大館市のおふくろの味として知られています。工芸品としては、「大館曲げわっぱ」や天然秋田杉による「桶樽」づくりがあり、国の伝統工芸品ともなっています。

また、秋田犬の忠犬ハチ公のふるさとであり、観光キャラクター「はちくん」は、本市の「イヌナキン」と同じく犬をモチーフとしています。

大館市は、「大館の未来を紡ぐものがたりづくり」を基本理念とし、「匠と歴史を傳承し、誇りと宝を力に変えていく未来創造都市」を将来像として、まちづくりに取り組まれています。



④⑩ 秋田県大館市

▶平成30年1月17日、福原淳嗣 大館市長（右）と協定を締結



大館市の特産品

